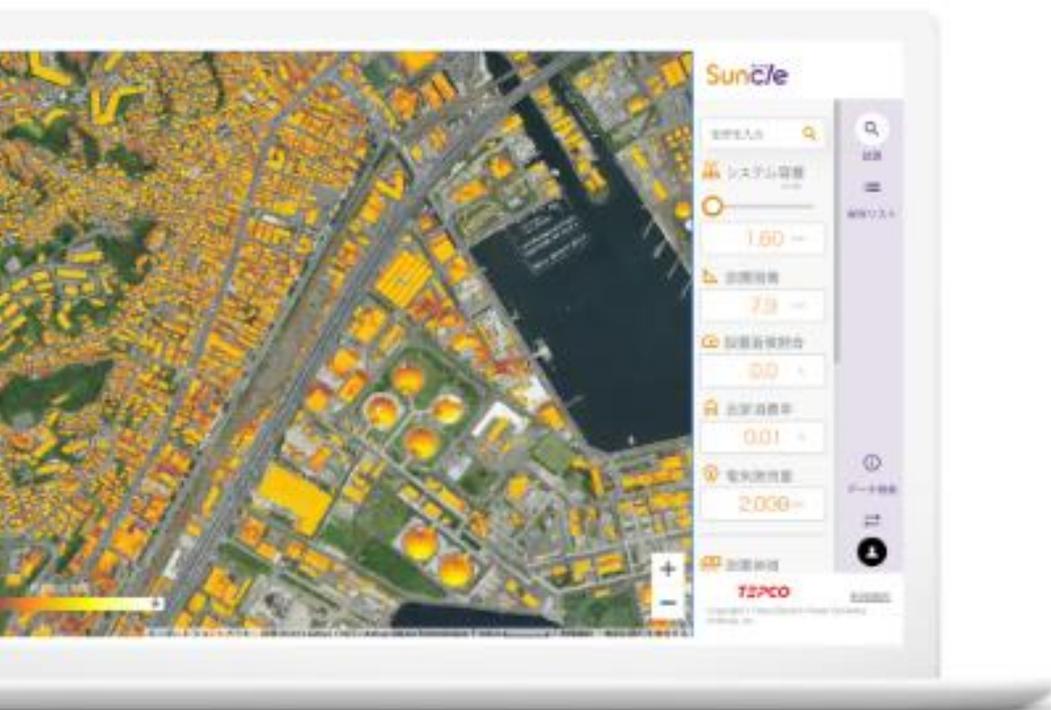


太陽光発電導入を加速させる 「Suncle for Business」活用ガイド

- GoogleのAI技術 x 東京電力の知見で、営業とスピードを革新する-



東京電力ホールディングス株式会社
ESG推進室



工数の壁

図面入手や衛星写真ツールを使った屋根調査、現地調査など、情報入手から提案書提出までの工数の重さ



知識の壁

提案には高度な専門知識と経験が必要なため、限られた担当者へ業務が集中。教育には研修が必要



関心の壁

顧客の関心が低いうちから建物の詳細情報を要求される顧客の心理的ハードルと、要求する営業担当者側の心理的ハードル

Source: * グループ企業での実績に基づく

1

住所入力だけで、誰でもカンタンに一瞬でPV導入の経済性を試算できる

2

Google Solar APIを活用し、AIが屋根の傾き、影の影響を解析

3

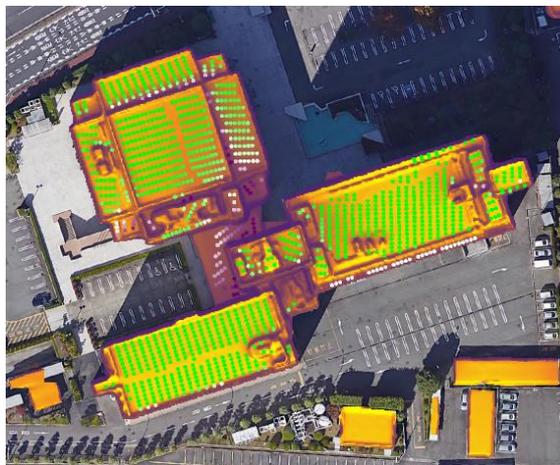
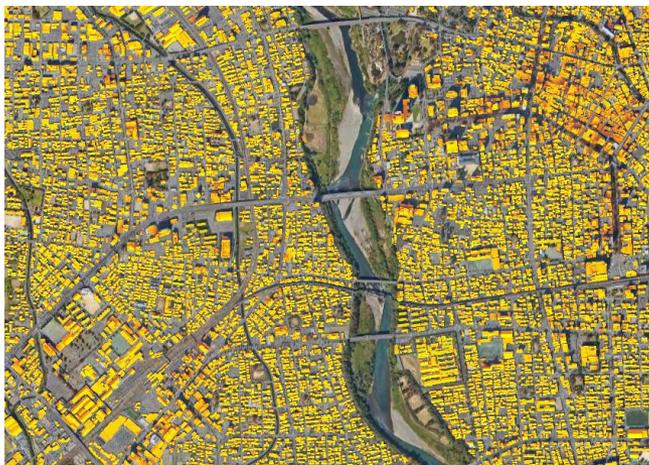
日本全国99%をカバー



青: Suncle for Business試算対応範囲
赤: C向けSuncleの試算対応範囲、
Suncle for Businessの日射量可視化対応範囲

- 屋根の日射量を色別（黄・橙・紫）で表示
- パネル1枚ごとの発電量を可視化（緑・白・紫）
- 周囲の建物や樹木の影、季節ごとの変化も考慮

日射量、発電量の可視化



屋根日射量（広域マップ）
前スライド日本地図「赤」エリア対応

屋根日射量（建物）
パネル配置、発電量（建物）
前スライド日本地図「赤」エリア対応

パネル配置、発電量（建物）
前スライド日本地図「青」エリア

※ 建物画像の角度が斜めの場合など、建物画像とパネルマークがズレて表示される場合があります。

- 発電予測量、運営収支、回収期間、CO₂削減量を一瞬で算出
- 電気料金単価や設置費用などの数値を自由にカスタマイズ可能
- 投資回収イメージをグラフで表示、提案書をその場で作成

試算メイン画面

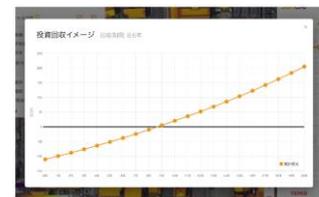
① 建物を検索

**② 対象の建物独自の初期値を自動表示
必要に応じて、値を調整**

屋根面積	5,449	m ²
発電予測量 (1年目)	176,569	kWh/年
運営収支 (1年目)	3,046,906	円/年
節約できる電気料金	3,483,706	円/年
運営維持費	436,800	円/年
設置費用	23,860,200	円
回収期間	7	年
CO ₂ 削減量 (1年目)	75	t-CO ₂ /年

システム容量	714 kW	
109.20	kW	
設置面積	536.1	m ²
設置面積割合	9.8	%
自家消費率	113.27	%
電気使用量	200,000	kWh/年
設置単価	218,500	円/kW

投資回収イメージグラフ



保存案件リスト

シミュレーションID	建物名	設置容量 (kW)	設置面積 (m ²)	回収期間 (年)
001	東京都庁	2000	10000	10
002	東京駅	1500	7500	8
003	有明コロシアム	3000	15000	12
004	国立競技場	4000	20000	15

提案書作成機能

【Suncle for Businessサービス画面イメージ】

- 視覚的なインパクトによる「自分事化」
- 具体的で根拠のある「試算」
- 瞬時の「提案」

により、潜在顧客の興味喚起の向上をサポート

新人でも即戦力に！

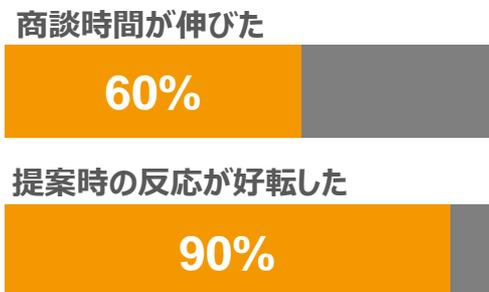
新人研修時間



提案書提出までのリードタイム 収支試算/提案書作成を外注している場合



顧客の反応



トスアップ率





“

瞬時に

日射量をビジュアルで確認

費用対効果を数字で示し

個別提案ができるので

営業先で興味をひきつけ話が膨らむ

〈ユーザー〉 営業担当者